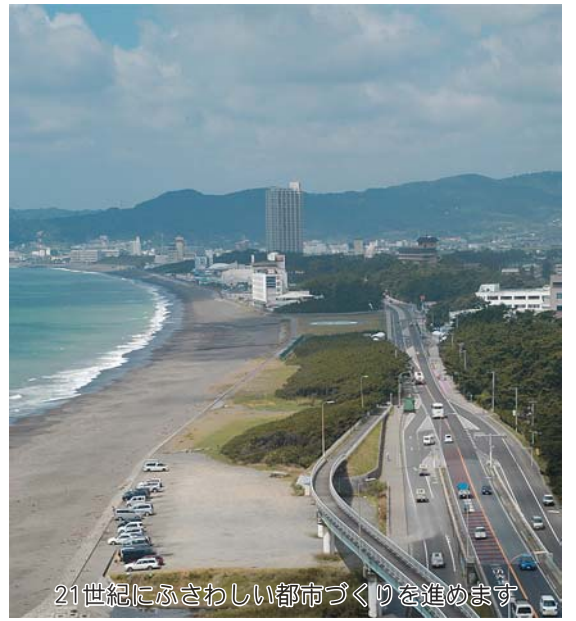


# 活かした観光・交流都市計画」ができました

鴨川市・天津小湊町合併協議会では、合併後のおおむね10年間を計画期間とする「新市まちづくり計画」を策定しました。この計画では、「自然と歴史を活かした観光・交流都市」を新市の将来像に置き、都市基盤や産業振興など6項目を柱に各種の施策をバランス良く盛り込んでいます。天津小湊町の住民皆さんとともに進めていく今後のまちづくり。そのあらましを見てみましょう。



21世紀にふさわしい都市づくりを進めます

## 新時代における交流拠点の都市

学術・文化・情報の発信拠点として一層の整備を進め、大学を核としたまちづくりに取り組んでいきます。

### ■道路網の整備

東関東自動車道など広域幹線道路の整備を促進。これらと連携する幹線市道や生活道路を計画的に整備するほか、鴨川有料道路や房総スカイラインについて、無料化実現に向けた働きかけを行っています。

### ■公共交通機関の充実

JR内房線・外房線の複線化や運行本数の増加を働きかけるほか、コミュニティバスシステムの整備や高速バス路線の利便性向上を促進し、市民皆さんの身近な交通手段を確保します。

### ■情報ネットワークの整備

住民サービスの向上と新市全体の情報化をめざし、高速・大容量通信基盤の整備を促進します。

### ■公園・緑地の整備

海岸や河川にレクリエーション、自然体験の場としての機能を盛り込み、特色ある公園や親水空間をつくるべく、国営公園の誘致や市民参加による緑化運動を進め、地域全体の公園化を図ります。

### ■上水道の整備

浄水場の改修や老朽管の更新を計画的に行う一方、水質管理体制を強化し、市民生活に不可欠な水道水の安定供給に努めます。

### ■消防・防災対策の充実

合併に伴う地域の拡大に対応できる、迅速で広域的な消防・防災活動が求められる。これには、耐震性貯水槽や消防車両、防災無線



美しい自然環境を将来に

## 環境と共生する快適で安全な都市

### ■環境施策の推進

自然や環境にやさしいまちづくりを求める市民の声が多いことから、新市において環境基本計画などを策定。市民と事業者、行政が一体となった施策を進めます。また、環境学習プログラムやイベントを実施することで、循環型社会について学び実践できる機会を提供していきます。

### ■公園・緑地の整備

海岸や河川にレクリエーション、自然体験の場としての機能を盛り込み、特色ある公園や親水空間をつくるべく、国営公園の誘致や市民参加による緑化運動を進め、地域全体の公園化を図ります。

### ■上水道の整備

浄水場の改修や老朽管の更新を計画的に行う一方、水質管理体制を強化し、市民生活に不可欠な水道水の安定供給に努めます。

## 活力に満ちた産業の都市

### ■農林業の振興

農業では、生産基盤となるほ場整備を進めるほか、農業経営に法人化・情報化を導入するなど、生産性の向上や農産物のブランド化を図ります。また、豊かな里山資源を活用した都市・農村交流を、新市でも積極的に推進します。林業では、植林や下刈り、間伐など適正な管理を行い、新市の70%近くを占める森林の保全に努めます。

### ■水産業の振興

漁業活動の拠点となる県営・市営漁港の整備や栽培漁業を促進します。また、水産物直売に観光・リゾート機能を加えた拠点施設「フィッシャーマンズ・ワーフ」の整備を検討。注目を集める海洋深層水も活用しながら、多面的な漁業を展開していきます。

### ■商工業の振興

人々が行き交うにぎわいの場として商店街の景観整備を進めるほか、新規企業の誘致や新産業開発の支援について検討を始めます。

### ■観光・リゾートの振興

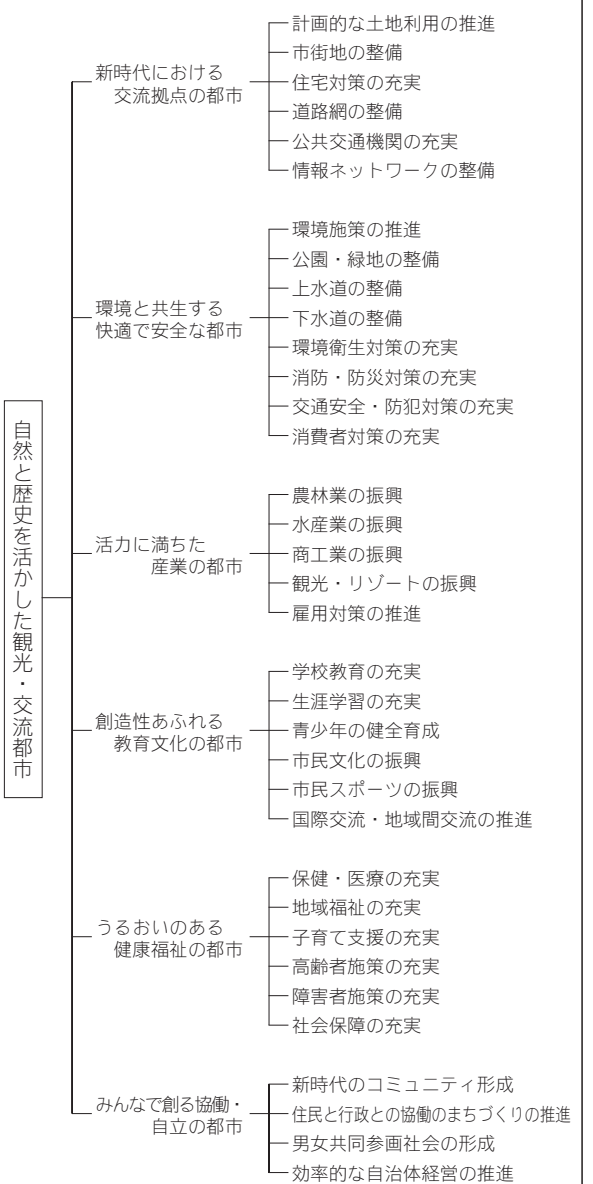
南房総観光の中核都市をめざすための「観光振興マスタープラン」を策定。鴨川・天津小湊の両市町が誇る観光資源を有機的に結ぶことで、新市の観光リゾート産業に新たな魅力を加えていきます。

事業の種類	重点施策
農林業の振興	○ほ場整備の促進（北小町地区、大里・八色地区ほか） ○農道など農業生産基盤の整備促進 ○地域ぐるみ営農システムの確立、農業経営の法人化の促進 ○都市と農村との交流推進
水産業の振興	○漁港の整備促進（県営漁港、市営漁港） ○駐車場の整備促進 ○フィッシャーマンズ・ワーフ（水産物直売と観光・リゾート機能が一体となった拠点施設）の検討、整備 ○海洋深層水事業の推進
商工業の振興	○商店街の環境・景観整備、ウォーターフロントにおける新商業集積の形成誘導
観光・リゾートの振興	○新たな観光・交流資源の整備



地場産業の活性化を支援

## 新市まちづくり計画の施策体系図



【まちづくり未来塾】公開講演会

8月10日（火）午後1時30分からJOSAI安房ラーニングセンター。テーマは「女性から見る観光地づくり」。講師はトラベルジャーナリストの津田令子氏。聴講は無料。申し込みは市企画振興課（☎037828）へ。